

安全データシート
サイザー46

作成日 2000年8月1日
改訂日 2017年10月20日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称： サイザー46
 会社名： 株式会社 光陽社
 住所： 福島県白河市大償中新城字塩沢1
 担当部門： 技術部 品質保証室
 電話番号： 0248-46-2891
 整理番号： 1213S046WB

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

燐発物	分類対象外
可燃性／引火性ガス	分類対象外
可燃性／引火性エアゾール	分類対象外
支燃性／酸化性ガス	分類対象外
高圧ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性物質	分類できない
急性毒性（経口）	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉じん）	分類できない
急性毒性（吸入：ミスト）	分類対象外
皮膚腐食性・刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	区分1
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	分類できない

健康に対する有害性

環境に対する有害性	発がん性	区分 1A
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	区分 3 (気道刺激性)
	特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	区分 1 (吸入：肺、中枢神経系)
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
	水生環境急性有害性	区分 3
	水生環境慢性有害性	区分 3
	オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
発がんのおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
長期にわたる又は反復暴露による肺、中枢神経系の障害
水生生物に有害

注意書き：

長期継続的影響により水生生物に有害

【安全対策】

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
粉じんを吸入しないこと。
必要に応じて保護眼鏡を着用すること。
呼吸用保護具／保護面、保護手袋及び保護衣を着用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。

【応急措置】

吸入した場合、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

高温を避け、換気の良い涼しい所に保管する。

【廃棄】

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。洗浄液は無害化して廃棄する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：	混合物	
化学名／一般名	CAS 登録番号	濃度[%]
酸化アルミニウム (Al ₂ O ₃)	1344-28-1	60

パラフィン	8009-03-8	5
	64742-61-6	
	63231-60-7	
ロジン	8050-09-7	3
鉱油	非公開	<1

※その他カルボン酸などを含む。

4. 応急措置

- 吸入した場合： 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合： 汚染された衣類を脱ぐこと。
 皮膚を速やかに洗浄すること。
 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
- 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合： 速やかに口をすすぎ、直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

- 消火剤： 初期火災には粉末消火薬剤、二酸化炭素、泡消火薬剤、乾燥砂等を用いる。大規模な火災の際には泡消火剤等を用いて空気を遮断することが有効である。
- 使ってはならない消火剤： 水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置： 関係者以外の立入りを禁止する。
 作業者は適切な保護具（保護手袋、保護眼鏡、保護衣、長靴等）を着用すること。
- 環境に対する注意事項： 製品が河川・海等に排出されないように注意する。排出物を直接、河川や下水に流してはいけない。
- 回収、中和、封じ込め及び浄化の方法・機材： 漏洩物を空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策： 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気： 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策（局所排気装置、全体換気）を行う。
- 注意事項： 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

接触、吸入又は飲み込まないこと。
 粉じんを吸入しない。
 取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

技術的対策：
 混触禁止物質：
 保管条件：
 容器包装材料：

取扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
 「10. 安定性及び反応性」を参照。
 高温を避け、換気の良い涼しい所に保管する。
 破損しないものに入れる。

8. 毒害防止及び保護措置

設備対策：
 保護具

呼吸器の保護具：
 手の保護具：
 眼の保護具：
 皮膚及び身体の保護具：

粉じんの吸入を避けるために排気用の換気を行うこと。
 適切な呼吸器保護具（防じんマスク等）を着用すること。
 適切な保護手袋（皮手袋等）を着用すること。
 保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用すること。
 保護衣、安全靴等の保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状、色：
 臭い：
 pH：
 融点・凝固点：
 沸点、初留点及び沸騰範囲：
 引火点：
 爆発範囲：
 蒸気圧：
 蒸気密度：
 比重（密度）：
 溶解度：
 n-オクタノール／水分配係数：
 自然発火温度：
 分解温度：

淡赤色固体
 微臭
 データなし
 データなし
 データなし
 データなし
 データなし
 データなし
 データなし
 データなし
 データなし
 データなし
 データなし
 水に不溶
 データなし
 データなし
 データなし

10. 安定性及び反応性

安定性、反応性：
 危険有害反応可能性：
 避けるべき条件：
 混触危険物質：
 危険有害な分解生成物：

通常の実験条件（常温）において安定。
 ほとんどなし。
 火気、直射日光。
 酸、アルカリ性物質との同一場所での保管は避ける。
 特になし。

11. 有害性情報

<p>急性毒性：</p>	<p>酸化アルミニウム ラット LD₅₀>5000mg/kg (経口)¹⁾ パラフィン ラット LD₅₀ >5000mg/kg (経口)¹⁾ ウサギ LD₅₀ 3600mg/kg (経皮)¹⁾ ロジン ラット LD₅₀ 7800mg/kg (経口)²⁾ ウサギ LD₅₀ >2500mg/kg (経皮)²⁾ ラット LD₅₀ 2.3mg/L (吸入：粉じん)²⁾ 鮫油 ラット LD₅₀ >5000mg/kg (経口)³⁾ ウサギ LD₅₀ >5000mg/kg (経皮)³⁾ ラット LD₅₀ 2.18mg/L (吸入：ミスト)³⁾ カルボン酸 ラット LD₅₀ 4640 mg/kg</p>
<p>皮膚腐食性及び皮膚刺激性：</p>	<p>データなし</p>
<p>眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：</p>	<p>データなし</p>
<p>呼吸器感受性：</p>	<p>ロジンは、反復或いは長期にわたり吸入すると、感作を引き起こすおそれがある^{4) 6)}。ほとんどが職業ばく露の場合であるが、当該物質を含む松やに、はんだ融剤、樹脂酸などを扱う作業者が喘息あるいは喘息様症状を呈した症例報告が数多く出ている。その他に作業に関連した呼吸器症状の訴え、呼気流量の低下、気管支炎、さらに症状持続や重度の喘息発作が報告され、症状の発生と程度がばく露レベルに関連していることを示す記述もある。以上の知見に加え、日本産業衛生学会で気道感受性物質の第1群に分類されているとの記述がある⁶⁾。よって区分1に分類される。 本製品はロジンを1%以上含むため、区分1とした。 (吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ)</p>
<p>皮膚感受性：</p>	<p>ロジンは、反復或いは長期にわたり皮膚接触すると感作を引き起こすおそれがある^{4) 5)}。モルモットを用いたマキシマイゼーション試験で陽性結果がある、又ヒトで当該物質あるいは当該物質を含む産物に起因するとされるアレルギー性接触皮膚炎の報告が複数ある。さらにEU分類がR43であるとの記述がある⁶⁾。よって区分1に分類される。 本製品はロジンを1%以上含むため、区分1とした。 (アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ)</p>
<p>生殖細胞変異原性：</p>	<p>データなし</p>
<p>発がん性：</p>	<p>鮫油は、発がん性のおそれがある³⁾ (区分1A)。 本製品は鮫油を0.1%以上含むため、区分1Aとした。 (発がんのおそれ)</p>
<p>生殖毒性：</p>	<p>データなし</p>
<p>特定標的臓器毒性 (単回暴露)：</p>	<p>酸化アルミニウムは、上気道刺激性がある⁷⁾との記載より区分3 (気道刺激性) に分類。 本製品は酸化アルミニウムを20%以上含むため、区分3とし</p>

特定標的臓器毒性（反復暴露）：
た。
（呼吸器への刺激のおそれ）
酸化アルミニウムの職業暴露により、肺に線維症が認められる⁶⁾（区分1）。酸化アルミニウムは、中枢神経系に影響を及ぼす可能性がある⁷⁾（区分1）。
本製品は酸化アルミニウムを10%以上含むため、区分1とした。
（長期にわたる又は反復暴露による肺、中枢神経系の障害）
吸引性呼吸器有害性： データなし

1.2. 環境影響情報

生態毒性：
ロジンは、甲殻類（オオミジンコ）の48時間EC₅₀=4.5mg/Lとの記載があり、水生生物に毒性がある⁶⁾ため、急性水生環境有害性が区分2に分類される。
本製品はロジンを2.5%以上含むため、急性水生環境有害性を区分3としたが、他の原料については水生環境有害性が不明である。

残留性・分解性：
（水生生物に有害）
ロジンは、急性毒性が区分2、急速分解性がなく（BODによる分解度：36-48%）、生物蓄積性が不明であるとの記述がある⁶⁾ため、慢性水生環境有害性が区分2に分類される。
本製品はロジンを2.5%以上含むため、慢性水生環境有害性を区分3としたが、他の原料については水生環境有害性が不明である。

（長期継続的影響により水生生物に有害）
生体蓄積性： データなし
土壌中の移動性： データなし
オゾン層への有害性： データなし

1.3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：
廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装：
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1.4. 輸送上の注意

国際規制：
国際海上危険物規則（IMDG Code）、IATA 危険物規則に非該当。

輸送の特定の安全対策及び条件：
輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

輸送容器は衝撃を与えないようにていねいに扱い、激突させたり、引きずる等の粗暴な取扱いをしない。

15. 適用法令

酸化アルミニウム

労働安全衛生法：

名称等を通知すべき有害物 189 酸化アルミニウム
(法第57条の2 施行令第18条の2 別表第9)

パラフィン

労働安全衛生法：

名称等を通知すべき有害物 170 固形パラフィン
(法第57条の2 施行令第18条の2 別表第9)

ロジン

労働安全衛生法：

名称等を通知すべき有害物 632 ロジン
(法第57条の2 施行令第18条の2 別表第9)

鉱油

労働安全衛生法：

名称等を通知すべき有害物 168 鉱油
(法第57条の2 施行令第18条の2 別表第9)

16. その他の情報

参考文献

- 1) IUCALID (2000)
- 2) Akzo Coatings Inc. "Refind Gum Rosin" MATERIAL SAFETY DATA (1990. 2. 8)
- 3) 安全衛生情報センター 製品安全データシート 鉱油 (2006年8月15日改訂)
- 4) 日本産業衛生学 (日本産業衛生学会) 第40巻第4号 (1998年7月号)
- 5) 1999 TLV and BEIs (ACGIH)
- 6) 中央労働災害防止協会「安全衛生情報センター」HP
- 7) ICSC (2000)
- 8) EHC (1997)

※記載内容の取扱い

記載内容は情報提供であって保証するものではありません。